

ISS・きぼう ウィークリーニュース

International Space Station (ISS) / Japanese Experiment Module "Kibo"

WEEKLY NEWS: Vol. 466



(左) 筑波宇宙センターを訪れた古川宇宙飛行士ら ISS 第 28 次 / 第 29 次長期滞在クルーと「きぼう」運用管制チーム (JFCT)
(右) ISS 長期滞在ミッションロゴの記念の額を「きぼう」運用管制室に飾る古川宇宙飛行士 (すべて出典: JAXA)

トピックス

古川宇宙飛行士は引き続きデブリーフィングや帰国報告会などに参加

国際宇宙ステーション (ISS) 長期滞在後初めて日本に帰国した古川宇宙飛行士は、1月17日から18日にかけて筑波宇宙センターで行われた関係者とのデブリーフィング (技術的な報告会) に、マイケル・フォッサム、セルゲイ・ヴォルコフ宇宙飛行士とともに参加しました。

また、古川宇宙飛行士らはデブリーフィングの合間に縫って「きぼう」日本実験棟運用管制室を訪れ、ISS 長期滞在中の地上からの支援に感謝を述べるとともに、記念の額を管制室に飾りました。

1月19日、古川宇宙飛行士は、出身地である神奈川県横浜市で開催された帰国報告会に参加しました。

会場には母校である横浜市立間門小学校の児童など約420名が集まり、古川宇宙飛行士は子供たちに ISS での活動や体験を伝えるとともに、初飛行まで12年以上訓練を続けてきたことを語り、「先が見えない時もあったが、その日できることを続けて夢を叶えることができた。努力したら大概の夢は叶うと思う。皆さんの夢が叶うことを願っています」と夢を実

現する方法について述べました。

ホームページでは、1月16日に東京都渋谷区で開催されたミッション報告会レポートを掲載しています。また、古川宇宙飛行士 Twitter では帰国中の古川宇宙飛行士の活動について随時ツイートしていますので、ぜひご覧ください。皆様のフォローお待ちしています。

Website info

古川宇宙飛行士ミッション報告会開催レポート (東京)
http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/furukawa/news/furukawa_debrief1.html
古川宇宙飛行士 Twitter で最新情報をチェック!
http://twitter.com/Astro_Satoshi

今週のきぼう



Hair 実験のサンプル採取を実施、タンパク質結晶生成実験を開始予定

1月20日、「長期宇宙滞在宇宙飛行士の毛髪分析による医学生物学的影響に関する研究」(Hair) の一環として、宇宙飛行士の毛髪の採取を行いました。

1月28日から5回目の「タンパク質結晶生成実験」(JAXA PCG) を開始する予定

です。この実験で使用する試料は、1月26日に打上げが予定されているプログレス補給船 (46P) で ISS に運ばれます。

「マランゴニ対流におけるカオス・乱流とその遷移過程」実験を流体実験ラックの流体物理実験装置 (FPEF) で断続的に実

施していましたが、1月17日に流体実験ラックに異常が発生したため、原因調査および対策の検討を行っています。

Website info

「きぼう」での実験 (各実験の詳細は[こちら](http://kibo.jaxa.jp/experiment/))
<http://kibo.jaxa.jp/experiment/>

船内実験室運用開始から 1328 日経過



45PはISSから分離後、ロシアの小型衛星「Chibis-M」の放出へ

第30次長期滞在クルーのバーバンク宇宙飛行士らは、プログレス補給船(45P)の分離に向けた準備を行いました。45PはISSから分離した後、ロシアの小型衛星「Chibis-M」を放出する特殊な運用を行うため、45PにChibis-Mを装着する作業や、ハッチを開放状態とするために与圧カーゴモジュールを減圧する作業など、通常とは異なる準備が必要でした。

45Pは1月24日午前7時10分にISS

から分離しました。45Pは分離後、地上からの制御でスラスター(小型のエンジン)噴射を行い、軌道高度を約500kmまで上昇させます。そして1月25日午前8時19分頃にChibis-Mを放出した後、大気圏に再突入して安全に投棄される予定です。

次のプログレス補給船(46P)は、1月26日午前8時06分頃にカザフスタン共和国のバイコヌール宇宙基地から打ち上げられ、1月28日午前9時08分頃にISS

へドッキングする予定です。

Expedition 30 Crew

ISS滞在69日経過

ダニエル・バーバンク(コマンダー、NASA)

アントン・シュカブレフ(ロシア)

アナトリー・イヴァニシン(ロシア)

ISS滞在31日経過

オレグ・コノネンコ(ロシア)

アンドレ・カイパース(ESA)

ドナルド・ベティット(NASA)

Website info

45Pミッションページ

<http://iss.jaxa.jp/iss/supply/45p/>

46Pミッションページ

<http://iss.jaxa.jp/iss/supply/46p/>

インフォメーション

古川宇宙飛行士 ISS長期滞在ミッション報告会 in 東北大学、開催迫る

JAXAと東北大学は、古川宇宙飛行士による国際宇宙ステーション(ISS)長期滞在ミッション報告会と、「きぼう」とISSにおける利用実験の報告会を、1月27日(金)に東北大学にて開催します。

古川宇宙飛行士からの報告のほか、重力が植物の成長に与える影響を調べる高橋秀幸教授、ヒトのモデル生物である線虫を用いた実験を行う東谷篤志教授、宇

宙で生成したタンパク質結晶で欠陥発生の仕組みなどを調べる塙本勝男教授から、「きぼう」での実験について直接聞けるまたとない機会です。参加申し込みを引き続き受け付けておりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

Website info

古川宇宙飛行士ISS長期滞在ミッション報告会【ISSからのメッセージ～宇宙サイエンスin東北大～】

https://www.science-event.jp/furukawa_tohoku/



ISS長期滞在ミッション報告会(東京)での古川宇宙飛行士(出典:JAXA)

平成23年度第3回宇宙医学生物学研究ワークショップ開催、参加者募集中

JAXAは、国際宇宙ステーション(ISS)と「きぼう」日本実験棟を利用した宇宙医学生物学研究に取り組み、そこで得られた研究成果を社会に還元することを目的としたワークショップの本年度第3回目を、「宇宙医学と睡眠・生体リズム」をテーマに、東京都港区新橋のスタンダード会

議室にて2月20日(月)に開催します。

本ワークショップは一般の方もご聴講頂けます(参加費無料、事前申込み制)。詳細はホームページをご覧ください。

また、2月1日(水)開催の本年度第2回目のワークショップ「宇宙医学と健康増進科学」も引き続き参加者募集中です。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

Website info

平成23年度 第3回宇宙医学生物学研究ワークショップ「宇宙医学と睡眠・生体リズム」を開催
http://iss.jaxa.jp/topics/2012/01/igaku_ws_fy23_3.html

平成23年度 第2回宇宙医学生物学研究ワークショップ「宇宙医学と健康増進科学」を開催
http://iss.jaxa.jp/topics/2012/01/igaku_ws_fy23_2.html

more information

▶ 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センターからアンケートご協力のお願い(2月6日(月)まで)

http://iss.jaxa.jp/questionnaire_120123.php

情報の充実とより分かりやすい発信のため、ホームページに対する皆様のご意見をお聞かせください。ご協力よろしくお願ひいたします。

▶ SPACE@NAVI-Kibo WEEKLY NEWS http://iss.jaxa.jp/library/video/category/WEEKLY_NEWS

「きぼう」やISSの最新情報を映像でお届けするウィークリービデオニュースはこちらをご覧ください。

ISS・きぼうWi-Fiニュース 第466号

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> Eメール kibo-pao@jaxa.jp

Wi-Fiニュースマーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/>

*特に断りのない限り日付は日本時間です。

*「ISS・きぼうWi-Fiニュース」に掲載された記事を転載する場合、本Wi-Fiニュースから転載した旨を記述ください。